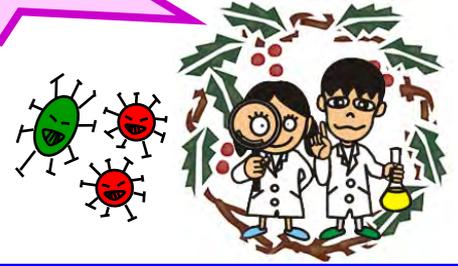


感染症に気をつけよう!

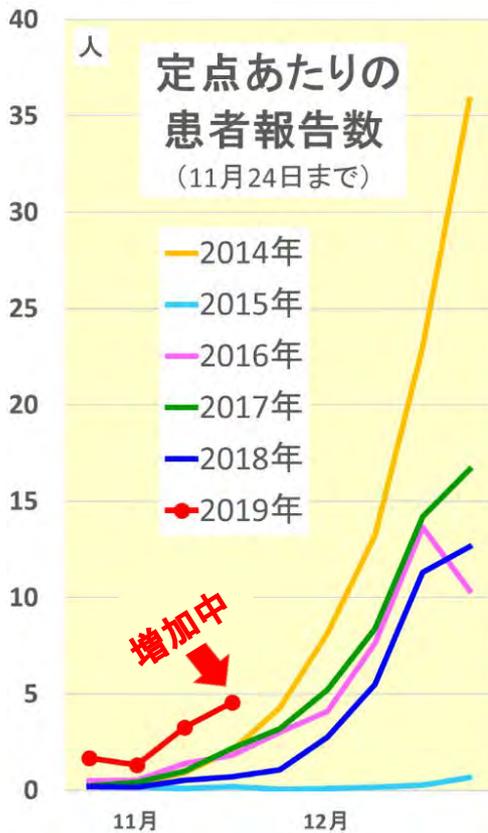
2019年【12月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症**	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
<u>インフルエンザ*</u>	流行	増加	10月初めに流行が始まってから横ばいでしたが、11月中旬から増加しています。【'19.11号】
<u>風しん*</u>	発生		予防には、ワクチンが有効です。 【'19.4号】【予防接種】【風しん追加対策事業】

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- 11月下旬から小学校を中心に、**学級閉鎖**が急増しています。
- 施設等での**集団発生**も報告されています。

- インフルエンザの特徴は、**38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・全身倦怠感**などの症状が急に出ることです。
- **かかったかな!**と思ったら、**咳エチケット***を守り早目に受診してください。



- 熱が下がっても人にうつす可能性があります。発症後3~7日間は、鼻やのどからウイルスが排出されると言われています。
- 重症化を防ぐため、また、周りの人にうつさないためにも、無理をせず**学校*****や**仕事は休み**ましょう。



参考ホームページ *：厚生労働省 **：国立感染症研究所 ***：日本学校保健会

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 【横浜市感染症情報センター】

